



# フレンズ

山梨県立かえで支援学校相談・支援通信 第32号 平成21年9月1日発行

※「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

## 実りある2学期にむけて

長い夏休みもあっという間に終わりました。どんな夏休みだったでしょうか？

地域の小中学校では、もうすでに2学期が始まっていることと思います。かえで支援学校では、昨年度から続いていた増築工事も終了し、今日から2学期が始まりました。

ところで、夏休み明けの子どもの様子はいかがでしょう。かえで支援学校でもそうですが、生活リズムが崩れていたり、1学期に身につけた学習内容や生活スキルを忘れてしまっていたりする子どもがいます。そんな時には、その子を私たちかわかり手の指導力のバロメーターと考えてみてはどうでしょうか。すぐに以前の様子に戻ればそれまで指導したことが身につけている、そうでなければ自分たちの力が不足していた……といった感じで。

さて、私たち教員もこの休み中には、自分たちの1学期の指導を反省したり、2学期に向けて様々な研修会に参加したり、教材を開発したりしたことと思います。2学期に向けて新たな闘志を燃やしていたのではないのでしょうか。ところで2学期には運動会や学園祭などがある学校が多いと思います。毎年この時期になると、運動会や学園祭などに向けて日課が大きく変わることから情緒的に不安定になる子どもの姿が予想できるのではないのでしょうか。そんな時こそ腕の見せ所です。この休み中に学んだことを活かす絶好の機会です。様々な工夫をしてみてください。子ども達にとって実りあるものにするためにも、この休み中に学んだことを活用していきたいですね。

### オープンスクール・合同学習会・授業体験会にご参加ありがとうございました。

この7月から8月にかけてかえで支援学校では様々な会を催しました。

7月11日(土)には、オープンスクールを行いました。200名を超える方々に学校の様子を見学していただくことができました。また、8月18日(火)～21日(金)にかけてのかえで合同学習会には、のべ30名あまりの小中学校の先生方においでいただき、かえで支援学校の職員と共に研修を深めることができました。8月22日(土)の授業体験会には40名を超える学区内の幼児児童生徒のみなさんにかえで支援学校の授業を体験してもらい、今後の進路選択の参考にしてもらうことができました。この2ヶ月でたくさんの方々にかえで支援学校を知っていただけたと思います。ありがとうございました。



### 本校への入学・転入学の手続きについて

来年の4月からかえで支援学校の小学部・中学部へ入学・転入学を希望されても、本校でその可否を決定することはできません。各地区に設置されている就学指導委員会等と県適正就学推進委員会で検討され、判断されます。昨年度も2月や3月になって急に転入学を希望するケースが見られました。進路選択・進路変更はとっても大切なことです。早め早めに情報収集などを行い、各学校・園、市町村の教育委員会と相談の上しっかりと考え決めていきたいですね。なお今年度の各地区の就学指導委員会は12月頃と県の適正就学推進委員会は1月頃行われる予定です。

## 相談支援の中から ・ ・ 行動の意味は？ ・ ・

ある中学校の保護者の方とお話する機会がありました。その中で、

今通っている学校の子どもを取り巻く環境は申し分ない。

友だちや先生方に囲まれて楽しい学校生活を送っている。

しかし、友だちがいろいろな配慮をしてくれるので「やってもらうこと」に慣れてしまったり、身につけて欲しいことが身につかなかったりしてしまうのではないかなと思う時がある。

といったことをお聞きしました。

確かに一理あるかもと思ってしまいました。私もそんな生徒を目にしたことがあります。することはわかっているはずなのに声をかけないと始められなかったA君、修学旅行の宿泊先の風呂場で両手を広げて立っていたB君などなど……。『できる力を持っているのにできない』そんな感想を持ちました。

なぜできないのでしょうか。そこでふと浮かんだのが「誤学習」や「未学習」という言葉です。つまり間違っただけの学習をしてしまった、またはまだ学習していないということです。A君の中では『声をかけられたら始めていい』と思っているのかもしれませんが。もしかしたら、以前に受けた注意を誤って理解し、『自分から何かすることはいけない』と学んでしまったのかもしれませんが。さらにいえば注意を受けたくないの『言われたことをしてればいい』と消極的になっているのかもしれませんが。B君の場合はあきらかに自分の体は自分で洗うという学習をしていなかったわけです。

未学習はともかく行動面における誤学習はとてもやっかいなことです（学習面の誤学習もちろんありますがここでは除きます）。子どもによっては簡単に行動面の誤学習をしてしまいますし、誤って学習した行動を修正していくことがとても難しいケースもあります。よく相談支援の中で話題になる子どもの困った行動の中には、この子どもの誤学習とそれを強化する周囲のかかわり方に起因するものがあります。

重要なのはその行動の意味について考えることだと思います。なぜその行動をするのか、どういう時にするのか、その行動を起こした時の周囲はどのようにかかわっているか、その結果どのようなことになるかなど前後の様子も含めてしっかりと分析しその行動の意味をあきらかにしていくことで、次のステップにいく手だてを考えることができます。しっかりと子どもの様子を把握し、その意味を考えることができるといいですね。

（相談・支援部 向山）

### 中部地区特別支援教育連携協議会 夏期研修会がおこなわれました。

8月20日（木）国立特別支援教育総合研究所の小林倫代先生を講師に「教室で気になる子どもや障害のある子どもを持つ保護者へのかかわり方やその支援について」の研修会がおこなわれました。内容的に関心度が高かったようで教育関係者だけでなく様々な分野の方々にもご参加いただきました。

今回の研修内容を今後の支援の際には参考にいただければと思います。ご参加ありがとうございました。



※「地区連携協議会」は、地区内で様々な機関と特別支援教育に関する連携を図っていく会です。学識経験者・福祉・医療・労働・保健福祉・教育委員会・学校関係者等で委員の構成をしています。

中部地区は（甲府市・笛吹市・山梨市・甲州市・中央市の一部）で構成されています。

◆◆◆ この通信に関するお問い合わせは ◆◆◆



山梨県立かえで支援学校

相談・支援部（いは）

かえで支援学校

検索

甲府市東光寺2-25-1(〒400-0807)  
TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356  
URL <http://www.kaedey.kai.ed.jp/>  
E-Mail [sodan@kaedey.kai.ed.jp](mailto:sodan@kaedey.kai.ed.jp)  
(相談・支援部専用アドレス)

